

# 地域活性化を目指して、UJIターンの促進に挑戦 CHALLENGE

## ＜新潟県で暮らすことに魅力と誇りを感じて業務に取り組む＞

県の重点施策である人口流入促進・流出防止の一環として、新潟県へのUJIターンを促進する業務を行っています。私の所属する地域政策課では、定年間近から定年後の世代をターゲットに取り組んでおり、県外の方、特に首都圏在住の方に“にいがた暮らし”をお勧めしています。私自身、新潟県で暮らすことに魅力と誇りを感じてこの業務に取り組んでいますが、県外の方から改めて新潟のおいしい食べ物や自然環境の豊かさなどを熱く語られることがあり驚きやうれしさを感じています。



## ＜ニーズに応える企画を展開＞

どうしても県内にいると県外の方が新潟県にどのようなイメージを持っているかということが見えにくくなってきますが、ニーズに応える政策を展開しなければ効果がありません。そこで、新潟で暮らすことの魅力や暮らしの情報を発信することを目的として、表参道・新潟館ネスパスで“にいがた暮らしガイド”を定期的実施し、そこで毎回アンケートを取り、首都圏の方が新潟で暮らすことをどのように感じているかを知り、次のガイドや今後の取組を企画する際の参考にしています。

## ＜仕事の成果はより良い新潟県づくりに直結＞

県行政というのは、特定の地域や事柄を対象を絞って仕事を進める場面と社会全体を見渡して仕事を進める場面を使い分けることが多いです。一点集中で突破する力と大局を見極める力の両方が求められます。

仕事の成果はより良い新潟県づくりに直結しますので、十分やりがいをもって仕事ができると思います。

総務管理部  
地域政策課 交流・定住促進班  
主任 五十嵐 暁之  
(平成11年度採用:一般行政)

